

2012年4月2日



2012年度入社式 社長メッセージ

日本特殊陶業株式会社（本社：名古屋市瑞穂区）は本日、本社講堂にて2012年度の入社式を開催しました。当社社長 尾堂 真一による新入社員へのメッセージは以下のとおりです。

本日、入社式に臨まれた若さ溢れる184名の新入社員の皆さんをお迎えすることは、誠に心強く、会社を代表して心から歓迎申し上げます。また、当社の従業員として夢と希望に満ちた将来への第一歩を今、力強く踏み出されたことに対し、お祝い申し上げます。

ご存知のように、当社は1936年にNGKスパークプラグの製造販売を行うことからスタートしました。そして、諸先輩方の英知と努力により幾多の試練を乗り越えて、今や世界のトップメーカーとして各国の人々にNGKブランド名で愛用され親しまれていることは、皆さんもご承知の通りと思います。

また、一方ではセラミック技術を応用したNTKブランドでの各種センサーや半導体パッケージ、移動体通信機器、切削工具、セラミック応用製品など常に時代のニーズに合った、また、時代を先取りした数々の製品を世に送り続けています。直近では、地球温暖化等の環境問題に関連して、SOFC（固体酸化物形燃料電池）に代表されるエネルギー分野の新製品の開発に全力投球しています。

このように、自動車産業や時代の先端を行く情報通信産業等々、当社のビジネス領域は広く、限りない可能性を持って前進しています。

当社の状況を俯瞰いたしますと、大変厳しい環境下、先期・先々期と、中期経営計画【日特進化論】の深く掘る「深化」を2年通じて行い、今までの日特を振り返りつつ、業界や他社との相対の中で当社というものをしっかりと分析し、そこから“現在”を深堀してきました。

今期は、深堀の「深化」の最終年度となります。「深化の3年」のミッションは「現業の掘り下げと新ビジネスの種蒔き」であり、今期はその総決算を新入社員の皆さんとともに全社員がスクラムを組み行っていきたいと思っております。さらに、来年からの、日特が新しくなる「新化」に繋がる年となるよう更なる成長に向け、頑張っていきたいと思えます。

また先に述べたように、当社は「ものづくり企業」です。当社が、急激な環境変化の中でリーダーシップを発揮する提案型企業になるためには、お客様のニーズをスピーディに捉え、持っている技術を具体的な商品として形作り、世界市場へ押し出していく必要があります。

どのような時代にあっても、当社はモノ作りの原点を見据え「よりよい製品を供給し、お客様に満足をおくる」という基本姿勢を貫き通します。当社の企業理念のスローガンにあるように、お客様や社会に貢献することを第一主義として、会社の存在意義を高めたいと考えています。

ここで、当社を取り巻く、国内外を含めた環境変化について考えてみたいと思っております。

今日の世界は大きな変革と激動の真っ只中にあります。皆さんもご存じのように、東日本

大震災、タイの大規模な洪水災害の部品・原資材等の調達問題、ギリシャ債務問題から派生した欧州の経済不安と新興国市場への影響による世界的な経済の減速感です。また、このところ円安方向ではありますが、これらの影響を受けた高水準の円高など、日本経済は次々に逆風に見舞われてきました。

一方、長期的な環境変化としては、少子高齢化による財政悪化と産業構造の変化、経済的にも政治的にもプレゼンスを増す新興国群、東日本大震災後の脱原発運動に代表されるエネルギー問題、地球温暖化による環境問題、自動車産業では次世代自動車へのシフトなどによる産業・市場環境の変化があります。

こういった大きな環境変化の中、私はこれから当社の将来を担う皆さんに特にお願いしたいことを述べます。

第一に「健康管理に十分注意をして欲しい」ということです。健康に恵まれなければ、どんなに素晴らしい能力を持っていても、十分な仕事が出来ず、その才能や能力を発揮する場を失ってしまいます。環境変化に耐えうる健康の維持管理に努めてください。「心・技・体」という言葉がありますが、健康な体があつてこそ、健康な精神や技能を生み出します。よって私は「体・心・技」だと考えています。

次に「グローバルな視点に立って欲しい」ということです。当社は海外売上比率が80%と高く、世界各国のお客様の視点・視線で考えることができる「豊かな心」と「知恵」が必要です。また、先ほど環境変化について申し上げましたが、予測不能な環境変化に、迅速に対応するためには、多様な考えを持った人々、とりわけ、グローバルな感覚を持った方々、女性、経験豊富な方々、新しいものの見方のできる若い方々が意見を出し合い、実力を発揮することが重要だと考えています。とりわけ、皆さんのような若い方々からの意見は貴重だと考えています。そのため、皆さんには、早く仕事を覚え、時代の変化を見据えた幅広い自己研鑽を継続し、物事をグローバルな視点で考える習慣を身につけていただきたいと考えています。

三点目として「スピード感をもち、何事にも行動的に挑戦して欲しい」ということです。積極的な考え方・行動であれば、どんなに苦しい時でも必ず活路が開けます。失敗を恐れず、困難な課題に挑戦し、その課題を達成した時、人は大きく成長できるものです。そしてそれをスピード感を持ってやってほしいと思います。いろいろ考え過ぎて、やることが遅くなる、最悪は、できない理由のみを考えて結局やらないようになる、何もしない、というよりは、困難な課題にも、いち早く取り掛かり、そして失敗したらそれを早く修正して、また挑戦する。スピード感をもって困難な課題に挑戦するという姿勢が重要だと思います。また、当社は、そういった挑戦した人が“フェア”に評価される会社でありたいと考えています。

私は「伸びる会社は若者に力あり」と信じています。「情熱」と「忍耐力」を持つこと、そして自己責任に基づいた「行動」ができる人間になって下さい。会社が人生の全てではありませんが、皆さんが人生の大部分を過ごすのは会社です。会社の中で共に成長し、社会貢献ができる人材になっていただきたい。一日も早く職場に溶け込み、職場や地域社会、家庭になくはならない立派な社会人として、遅しく成長されるよう心から祈念して、私のお祝い、そして歓迎の言葉とさせていただきます。

以上